

応募方法

1人俳句三句、短歌三首、川柳三句以内（未発表のものに限る）。はがきに作品・住所・氏名・応募する壇名をはっきり書き、〒989-0292 白石市大手町1-1 白石市総務課へ。はがき一枚に短歌、俳句、川柳の併記は不可。
毎月15日締め切り。Eメールでも応募できます。（☎koho@city.shiroishi.miyagi.jp）

俳壇 山家弘子選
老鶯は城下の藪を知り尽くし
吊りさげし古風鈴の良き音色
境内に夜店並ぶや甘き風
山並を入道雲の影移る
青空の赤く見えそなこの暑さ

佐川 鉄輪
菊地せつ子
我妻 孝則
村上八重子
木村 芳香

【評一首目、一、二、三句は矜持。見下ろすは掛り具合いか、折しもの落日に今日を謝し、老いの明日を折るの
である。
二首目、何処かで産んだものであろう。仕方ないなあ、然う思う作者。結句あつての歌。
三首目、労り合う宵の情景を「文月湯上がり」が締める。よい記録となるう。

【評一首目、一、二、三句は矜持。見下ろすは掛り具合いか、折しもの落日に今日を謝し、老いの明日を折るの
である。
二首目、何処かで産んだものであろう。仕方ないなあ、然う思う作者。結句あつての歌。
三首目、労り合う宵の情景を「文月湯上がり」が締める。よい記録となるう。

市民文芸

歌壇 岩崎聰之介選

汗、草のにおいに塗れ今日も生き畑のてっぺん
入り日を拝む
物置に仔ら銜えつつ野良猫が雨の中を来
はここ産みし
夫項我背に腰と医療テープ共に貼り合ふ文月湯
上がり
昭和百年卒寿の我が戦ありき 空襲空腹いまだ
に忘れ得ず
空を見上げかがやく星へ手を伸ばし零るる光そ
と握りしむ
親父より長く生きたり七十五歳代わりに見んか
世のよしあしを
盆前の境内清掃のボランティア一休みのアイス
に老いらにっこり
清かなる花の顔々笑み掛けて走り爽快紫陽花
ロード
冷房の部屋はにがてと言うように猫は廊下に身
を投げ出せり
苗貰いしインゲン胡瓜目守りたれば見事や育ち
初に収穫す

阿部まゆみ
阿部かつみ
寺崎 悦子
齋藤 巖
阿部まゆみ
阿部かつみ
寺崎 悦子
齋藤 巖
阿部まゆみ
阿部かつみ
寺崎 悦子
齋藤 巖

柳壇 四竈英夫選

梅もぎし塩漬け終えて土用待つ
初給料孫のみやげの夫婦椀
平和だけ人の心で作れます
歳とともに感謝の気持ち忘れずに
夏草に競うが如く畑仕事
小農家米の不足に本気出す
政府米興味もあつて買ってみた
愛されたパンダお里で末永く
にわか雨迷ってきたか蟬の鳴く
嬉しきや弾む声あり師の電話

志村かつい
末吉アツ子
平間 大恵
本沢 幸子
星 明
遠藤 松雄
佐藤 啓子
菊川いつ子
遠藤 舞
大庭美智子

【評一句目、鶯を春のものとし夏になると老鶯と言う。夏は鶯の繁殖期で城下の山地に帰り竹藪などに巣を営む。美しい声に心が和む。
二句目、押し入れを片付けていると若かりし頃旅先で買った風鈴が出てきた。吊してみると涼しい音色を奏で、胸が一杯になった。
三句目、神社に色々の夜店が並び大人も子供も心が浮き浮きになる。何処からか綿あめの甘き匂いがしてきて子供の頃を思い出す。

一斉に夏の花々咲きし庭
ゼラニウム真紅の花の七年目
しなやかに伸びゆく枝の今年竹
蔵王嶺に夏の夕日のかくれけり
散歩路や馬鈴薯畑の白き花

菊川いつ子
佐藤 啓子
末吉アツ子
山田 もも
大庭美智子

Shiroishi Market

フレッシュマーケット

～地元農産物の魅力を発信～

地元の農産物や直売所などの魅力をお届けします。
～白石市農産物直売所連絡協議会は、地産地消を推進！～

市内の農産物
直売所情報▶



直売所紹介「バーバ工愛市」

市内直売所で唯一女性だけで運営しています。バーバ工愛市の「工(ク)」は工夫、「愛(ラブ)」は愛情が由来です。工夫を凝らしながら、愛情たっぷりの新鮮な野菜や惣菜、季節の果物、生花などを販売していますので、ぜひお越しください。

●営業場所・時間

【白石店（認可保育所あそびの森近く）】毎週水曜日 9:00～12:00

【元JAみやぎ仙南福岡支店構内店】毎週土曜日 9:00～12:00

※9月18日(木)10:00～14:00 宮城県庁1階ロビーで販売します。

☎農林課 ☎22-1253



▲お客さんとの交流を大切にしています。9月は旬の栗やブドウ、リンゴを販売します。

皆さんからのすてきな情報を待っています！

まちかどズームイン



▲ゆでたての「ピュアホワイト」を味わって食べる園児たち

白石三白野菜で食育活動

市内保育施設にピュアホワイトを提供

7月31日、越河保育園で子ども・子育て支援事業の一環として、食育活動を行いました。この催しは令和4年度から実施。この日は、おもしろい市場の職員が生でもおいしいトウモロコシ「ピュアホワイト」の特徴を説明し、園児たちが皮をむき、おやつで試食！園児たちは「甘くておいしい」と目を輝かせていました。



▲つかみ取りしたニジマスの塩焼きを味わう子どもたち

遊びを通じて環境を考える

白川地区「第18回小川と仲良くなろう」

8月2日、「小川と仲良くなろう」が小奥会館で開催されました。これは子どもたちに、環境について考えてほしいと小奥環境資源保全隊が毎年開催。この日は、あいにくの天気で小川には行けませんでした。が、工作やスイカ割り、ニジマスつかみ取りなどが行われ、子どもたちは夏のひとときを満喫していました。



▲のぼりを掲げて交通安全への意識づけを行う

夏の夜 安全を守ろう

夏のセーフティナイト・マナーアップ運動

7月29日、ヤマザワ白石東店前交差点にて、白石市交通指導隊と白石警察署による交通安全啓発活動を実施しました。歩行者の安全な横断支援やのぼり旗の掲揚、店舗利用者へのチラシ配布などを通じ、交通量の多い時間帯に交通安全の啓発を行いました。今後も、事故防止とマナー向上に向けた取り組みを続けていきます。



▲展示台は皇族殿下へ育樹祭開催状況などの説明で使用されます

育樹祭へ力を発揮

第48回全国育樹祭での設置物を制作

8月7日、第48回全国育樹祭「お手入れ行事」で使用するパネル展示台を、白石工業高校建築部が約2カ月かけて制作し、完成させました。これは県実行委員会の依頼で、県内の各地で準備物を分担して作成しているものです。部員4人が取り組み、参加した生徒は「緊張したが楽しめた」、「失敗もあったがうまくできた」と話していました。